

清水寺

清水の舞台から眺める鮮やかな紅葉がとてもきれいでした。「清水の舞台から飛び降りる」という表現がありますが、なにか大きな決断をする際に使われます。



伏見稻荷大社

全国に3万社あると言われる稻荷神社の総本宮です。

朱色の鳥居は1万本ほどあり、くぐりながら、坂道を登っていく景色はとてもきれいで、下の方になるともっと高くなるそうです。



二条城

徳川家康の將軍宣下や徳川慶喜の大政奉還が行われた場所で

す。江戸幕府の始まりと終わりを見届けたのです。



鳶（うぐいす）張りがほどこされていて、廊下を歩くとキュキュー音が鳴り、曲者が入ってくるとすぐにわかるように設計されているのだそうです。

金閣寺

快晴だったため、前の池に映る金閣を青空の下で見ることができました。ちなみに修復時に20kgの金が使用され、費用は5億円を越えたそうです。



北野天満宮

学問の神様、菅原道真公が祀られています。非常に頭のよい人でしたが、平安貴族の藤原家の政争に負け、九州・大宰府

に流され亡くなります。その後、朝廷では怪死事件が相次ぎ、道真公のたたりだと考えられ、それを鎮めるためにこの神社が建立されたそうです。



育徳安寺

石庭が有名で、全部で15個の石が配置されています。しかし、どの角度から見ても14個しか見えないそうです。一説では完璧を表す15から1つ少なくすることで不完全な庭、つまりこの世の万物は不完全であることを表現しているのだそうです。



4日目 嵐山へ

トロッコ列車に乗り嵐山まで紅葉できれいな景色を楽しみました。途中ライン下りの船に乗った人たちに手を振りました。



嵐山では竹林に感動しました。四方八方を竹に囲まれるという初めての経験をしました。



渡月橋付近は外国人や修学旅行生がたくさん居て、コロナ前の景色になっていました。

生徒の皆さん感想

おしゃか様の骨が納められている塔は、人々がお寺に行かなくても、おしゃか様に挨拶出来るよう高い建物になっていることを、薬師寺の法話で学び、昔の人の知恵はすごいなと感じました。

一つひとつのお寺や神社には見ただけではわからないことがたくさんあり、日本の歴史を肌で感じられました。自分がその時代

に生まれていたら、どんな生活だったのかを考えられる良い経験が出来ました。

○ タクシー研修で驚いたことは、標準語と関西弁の違いです。intonationや語尾の上がり方など、私たちの日常生活とは違うことが多くとてもいい経験になりました。

○ 奈良公園に行き、鹿とふれ合いました。沢山居てとても可愛かったです。けれど鹿せんべいを持つと囲まれつかれたりして、少し怖かったです。触れ合っていくうちに慣れていく、最終的には鹿を撫でることも出来て勝手に仲良くなった気がしています。

○ 友達を想い合う気持ちと、改めて感謝の気持ちが大切だなと思いました。一人が違う行動をしてしまうと、一緒にいる子も嫌な気持ちにさせてしまう場合があるので、気をつけようと思いました。

○ 虎を実際に見たことがないのに必死で描いた虎の絵から、当時の人の必死さとその絵を生み出した文化の両方を感じられました。

